

# かがやき

発行日 平成28年10月1日  
発行者 西中学校区人権学習推進委員会  
事務局 倉敷市倉敷西公民館  
倉敷市八王寺町199-3  
E-mail ph-kuranishi@kurashiki-oky.ed.jp  
http://www.kurashiki-oky.ed.jp/ph/kuranishi

## 思いやり ふれあう心 いっぱいのまち ～高めよう人権意識 強めよう地域の絆～



6月12日(日),平成28年度西中学校区人権学習推進委員会総会を開催しました。当日は,役員・推進委員・事務局員・啓発広報部員や倉敷市教育委員会・市民学習センター50人の参加を得て,昨年度の報告,そして本年度の活動方針・計画について話し合いました。本年度も引き続いて「思いやり ふれあう心 いっぱいのまち～高めよう人権意識 強めよう地域の絆～」をテーマに,いろいろな組織,学校園,地域で取り組んでまいります。

一人ひとりが大切にされ,より一層住みよい西中学校区になりますように皆様のご支援,ご協力をお願いいたします。(会長:梶谷 典孝)



### 10月

- \* 中洲学区町内会連合会学区区民祭  
期日 10日(月)体育の日  
場所 イオン倉敷  
内容 演芸 フリーマーケット 人権啓発
- \* 倉敷西公民館文化祭(倉敷西公民館主催)  
期日 21日(金)~23日(日)  
場所 倉敷西公民館  
内容 作品展示 舞台発表
- \* 人権〇×クイズ  
期日 21日(金)・22日(土)  
時間 10:30と14:00の2回  
場所 倉敷西公民館
- \* 老松ふれあいフェスタ  
期日 22日(土)  
場所 老松小学校  
内容 バザー 模擬店

### 11月

- \* 中洲学区ミニ健康展  
期日 10日(木)  
場所 倉敷西公民館  
内容 各種健康測定 健康体操  
健康食品試食 人権啓発
- \* 西中学校12組との交流会  
期日 11日(金)  
場所 倉敷西公民館  
内容 歌や劇などを通しての交流
- \* 西中学校区青少年を育てる会  
ふれあいウオーク  
期日 19日(土)  
場所 酒津公園 等

### 12月

- \* 人権作品表彰式  
期日 4日(日)  
場所 倉敷西公民館  
内容 小・中学生の人権に関する  
作文,ポスター,標語の優秀  
作品表彰と児童・生徒による  
発表
- \* 西中学校区人権学習推進委員研修会  
期日 4日(日)  
場所 倉敷西公民館

### 1月

- \* 新年の会  
期日 8日(日)  
場所 日吉会館  
内容 講演会 情報交換 親睦会
- \* 老松学区町内会婦人部研修会  
期日 18日(水)  
場所 老松ふれあい会館  
内容 講演会
- \* 人権教育講演会(倉敷西公民館主催)  
期日 22日(日)  
場所 倉敷西公民館  
内容 講演会  
「原発事故が奪った  
私たちの暮らし」  
津軽三味線奏者 蝦名 宇摩

# 「私の歩んだ道～見えないから見えたもの」

中洲小学校では、6月12日(日)の授業参観後、岡山県視覚障害者協会理事、元岡山県立岡山盲学校教頭の竹内昌彦先生をお招きし、5、6年生児童と全保護者を対象に教育講演会を行いました。竹内先生は、幼少の頃に全盲が故のいじめや嫌がらせに遭いましたが、前向きにたくましく生きてこられました。1964年パラリンピック東京大会盲人卓球で優勝、後に同校の教員となり、全国で2千回を上回る講演をされました。あわせて講演や自伝書の収益金、募金などを元に、モンゴルに視覚障害者の職業訓練学校を設立しました。



【竹内昌彦先生】

「自分の命を自分だけのものと思わず大切にすること。」「健康な体を有難いと思うこと。」「しっかり勉強して優しい心を持ち、人から感謝されることをすること。」「親子の絆を大切にし、毎日を丁寧に力一杯生きて幸せになること。」等、参加者全員の心に響くお話でした。

### ○参加された保護者の感想より



子どもと一緒に竹内先生の講演をお聞きすることができて、本当に良かったです。何よりも先生の生き方、強さと優しさに心を打たれました。子どもの心にも響いたようで、家庭でいろいろと話し合いました。今日のお話を思い出しながら、親として愛情あふれる子育てをしていこうと思います。ありがとうございました。

# OKANAIDE ~点字ブロックの上と近くに物を置かないで!~



【発祥の地 記念碑】

歩道や駅のホームでよく目にする「点字ブロック」の開発者は日本人、それも岡山県の三宅精一さんです。三宅さんは私財をなげうって、視覚障害者の安全で快適な移動支援のための設備として開発しました。そして、1967年3月18日岡山県立岡山盲学校近くの国道250号線原尾島交差点周辺に世界で初めて設置されました。

現在、日本では、日本工業規格で形状や寸法、その配列が規定され、国土交通省が作成した「視覚障害者誘導用ブロック設置基準」「道路の移動円滑化整備ガイドライン」に基づいて設置されています。また、国際的にも日本を基に規格が作られ、150カ国以上の国に広がっています。

身のまわりにある点字ブロックに気を配り、点字ブロックの上や近くに「物を置かない」「物があったら移動させる」ことから、私たちのテーマ「思いやり ふれあう心 いっぱいのまち」づくりを始めてみませんか。

岡山県では、「点字ブロックステッカー配り隊! 貼り隊!」の方々が啓発活動をされています。ステッカーが必要な方は倉敷西公民館までご連絡ください。



【Facebookより】



【啓発ステッカーの一部】



# 三世代ふれあいスポーツ大会



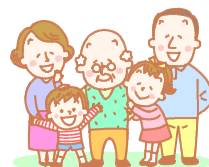
6月12日(日), 老松小学校で「老松学区三世代ふれあいスポーツ大会」が行われました。今年は天候に恵まれ, 体育館内での「輪投げ」「玉入れ」「ユニホック」に加え, 運動場で「ペタンク」「グランドゴルフ」を行いました。

開会行事の後, ラジオ体操で体をほぐし, いよいよ競技開始です。「輪投げ」「玉入れ」は, 幼い頃から親しんだ競技です。「輪投げ」では, 高得点を出すことの難しさを, また, 「玉入れ」では, 短時間で腰や膝を曲げたり伸ばしたりすることの難しさを, 改めて感じました。

「ユニホック」「グランドゴルフ」では, プロゴルファー顔負けの美しいスウィングに感動するとともに, ねらいに向かってほどよい力加減でまっすぐ打つことの難しさを感じました。また, 「ペタンク」では, 相手チームとの駆け引きを楽しみながら, 競技に熱中する姿が随所に見られました。

競技終了後の「表彰式」では, 商品を手にして満面の笑みを浮かべる参加者の姿が印象的でした。

「三世代」が心をつ一つにして, 心地よい汗を流すことができた一日になりました。



## 中洲老人クラブ連合会講演会

# 高齢者から光年齢者

# そして幸年齢へ

9月7日(水) 水江公民館において倉敷市から3名の方を講師としてお迎えして『高齢者の福祉サービス』と題した講演会を行いました。

まず, 保健福祉局健康福祉部健康長寿課, 小野課長主幹から『倉敷市の福祉事業』についての説明がありました。「少子高齢化の流れの中で, いかに福祉の充実を図るかが大切になってくる。介護予防の考え方を広く推し進めていきたい。」と話されました。

次に, 地域包括ケア推進室の中野保健師が, 健康長寿のための『3つの柱』として『社会参加』『身体活動』『栄養・歯』について話されました。健康長寿のための合言葉の『【きょういく】今日 行くところがある』『【きょうよう】今日 用事がある』のように生き生きとした毎日があることが大切であると話されました。

最後に, 市民局市民生活部消費生活センターの笠原課長補佐が, 高齢者の人権を侵害する問題について話されました。

それぞれの話に, 高齢者が生き生きと生活できる地域社会を作ることが必要であると共通して感じられました。そのためにも, まず一人ひとりが大切にされる地域でありたいと思います。



### 【参加者の感想】

健康長寿, 社会参加, 栄養の問題等, 整理した話がよかった。また, 消費生活におけるトラブルの実態などが大変参考になりました。

# 「丸亀少女の家」研修

8月25日(木) 14歳から20歳までの女子少年を收容し、非行から立ち直り、社会復帰できるように教育している少女少年院「丸亀少女の家」で研修を行いました。

少年院は全国で52庁。そのうち女子少年院は9庁あります。「丸亀少女の家」は、そのうちの1つで、三原スエさんが昭和23年に自宅のお寺で始められた戦後の荒れた子どもたちのための施設が元になっており、現在14名の女子が入所しています。

院内では「生活(心に寄り添う)」「職業(社会復帰のための資格取得)」「教科(義務教育未修了者)」「体育(なぎなた等)」「特別活動(切り絵等クラブ活動)」の5つの矯正指導を通して、総合的な人間教育を行っています。

院内見学時には、移動する場所の施設と見学者の人数確認を厳しくされていたのが印象的でした。また、院長さんをはじめ、職員の方の子どもたちへの愛情をもった指導を色々なお話の中で感じました。

研修を通して、人と人とのコミュニケーションを大切に、絆を深めることによって子どもたちを地域で育てていく大切さも教えられました。



## 第1回人権教育講演会

# 「がんばっている子どもたち」

～児童養護施設から～



8月21日(日)、倉敷西公民館で、社会福祉法人恵聖会「玉島学園」園長 田邊 弘先生をお迎えして、第1回人権教育講演会を行いました。

玉島学園では、保護者のいない児童(乳児を除く)や家庭のいろいろな事情で保護者と一緒の生活が困難な3歳から18歳の子どもたちが生活しています。

田邊先生は、子どもたちの背景にある家庭の問題をわかりやすくお話してくださいました。そして、職員の方と生活を共にすることにより、安全・安心の日々の生活を保障することに取り組んでいるそうです。また、ボランティアの地域の方々や学生たちとのふれあいも子どもたちにとって心のケアに役立っているそうです。

子どもたちの生活の様子をお話されたり作品を紹介して下さったり、田邊先生の熱心なお話に涙する参加者の方もいらっしゃいました。

田邊先生は、社会のひずみが子どもたちのような弱い者に表れていると話されました。いろいろなことを考えることができた講演会でした。

### 【参加者の感想(抜粋)】

慈愛に満ちたお話をありがとうございました。もっと世の中に目を向けて、何らかの被害を受けている子どもたちがいるのだと……今日のお話で胸に深く刻みました。

